

TOTO

ウォシュレット® ネオレストハイブリッド (便器部)

B/BH

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

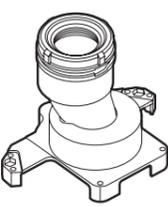
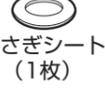
 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。	 必ず実行	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--------------------------------------	---	---

注意

	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に進行 故障や水漏れの原因になります。

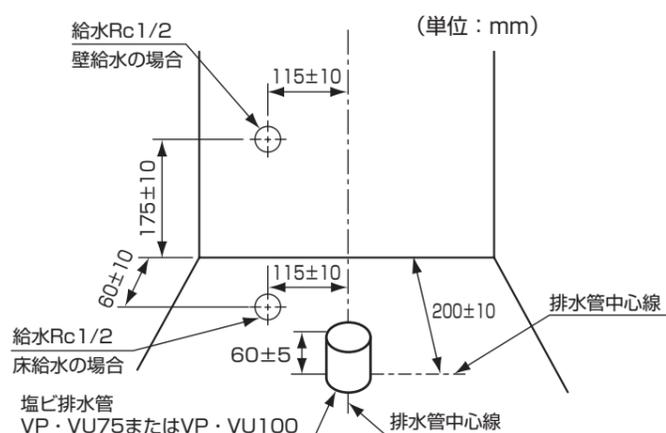
同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

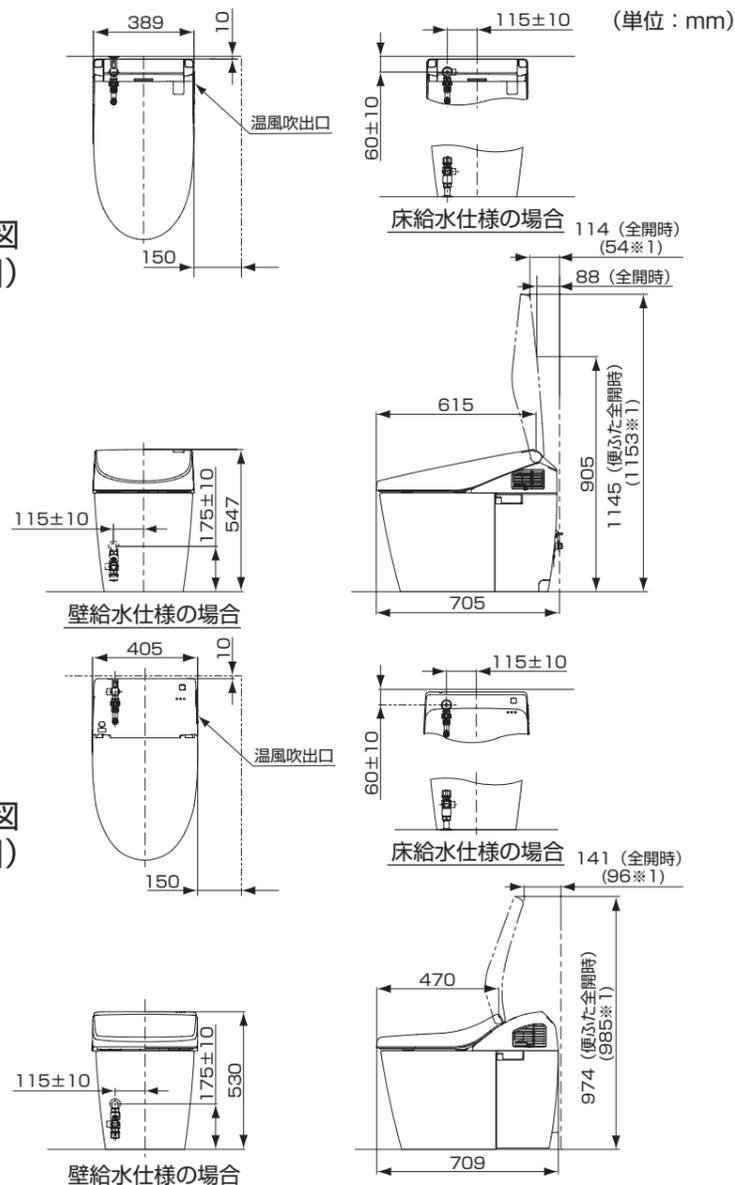
便器本体	排水ソケット	固定片
 (1個)		 固定片 (1個)
すっきりパネル	排水ソケット (1個) ※パッキン付き	 接着ブロック (1個)
 すっきりパネル (左) (1個)  すっきりパネル (右) (1個)		 木ねじ (φ6×40:2本)
給水金具	固定金具類	その他
 止水栓 (1個)  分岐金具 (1個)  パッキン (1個)	 六角ボルト (2本)  止め金具 (2個)	 本紙  開閉工具 (1個) ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。
 エルボ (1個)  ストレート管 (1個)	 ナット (2個)  ワッシャー (2個)	 位置決めシート (1部)
 ふさぎシート (1枚)	 木ねじ (排水ソケット用) (φ6×60:6本)	 水受けトレー (寒冷地のみ:1個) ※お客様に渡してください。

取り付け前のご注意

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- ネオレストAH・RHタイプは、後ろ壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。
(棚、収納キャビネットは下端FL+1400mm以上を目安としてください)
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はAH1:1286W、AH2・AH3:1381W(ヒータ付便器の場合はAH1:1326W、AH2・AH3:1421W)です。
- 電源コードの長さは約1mです。
コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa(10L/分)、最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 排水管が床面と同一でカットされている場合は、60mm立ち上げソケット(HH01001R)をご購入ください。



商品セット図 (施工完了図) AHタイプ

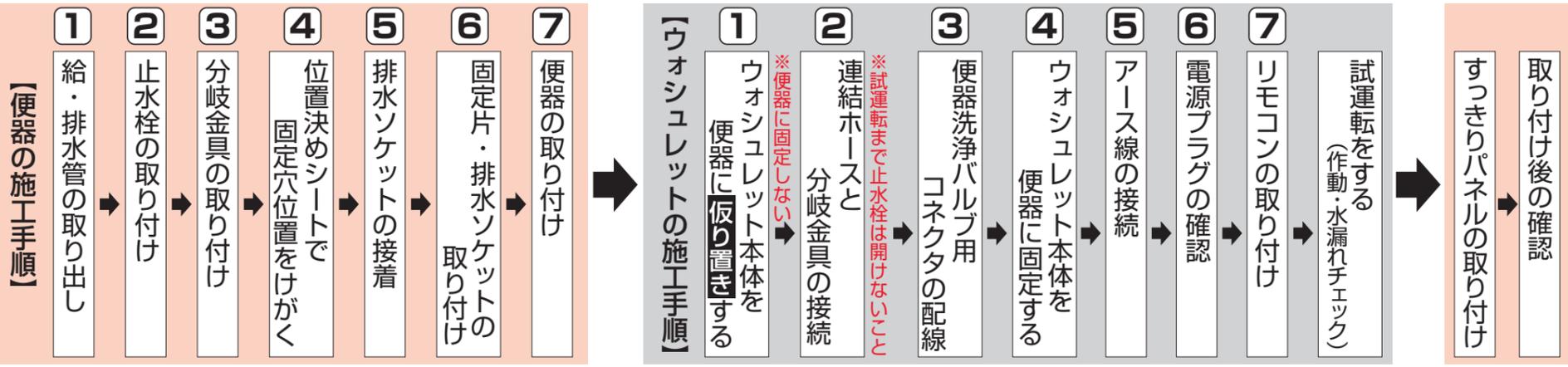


商品セット図 (施工完了図) RHタイプ

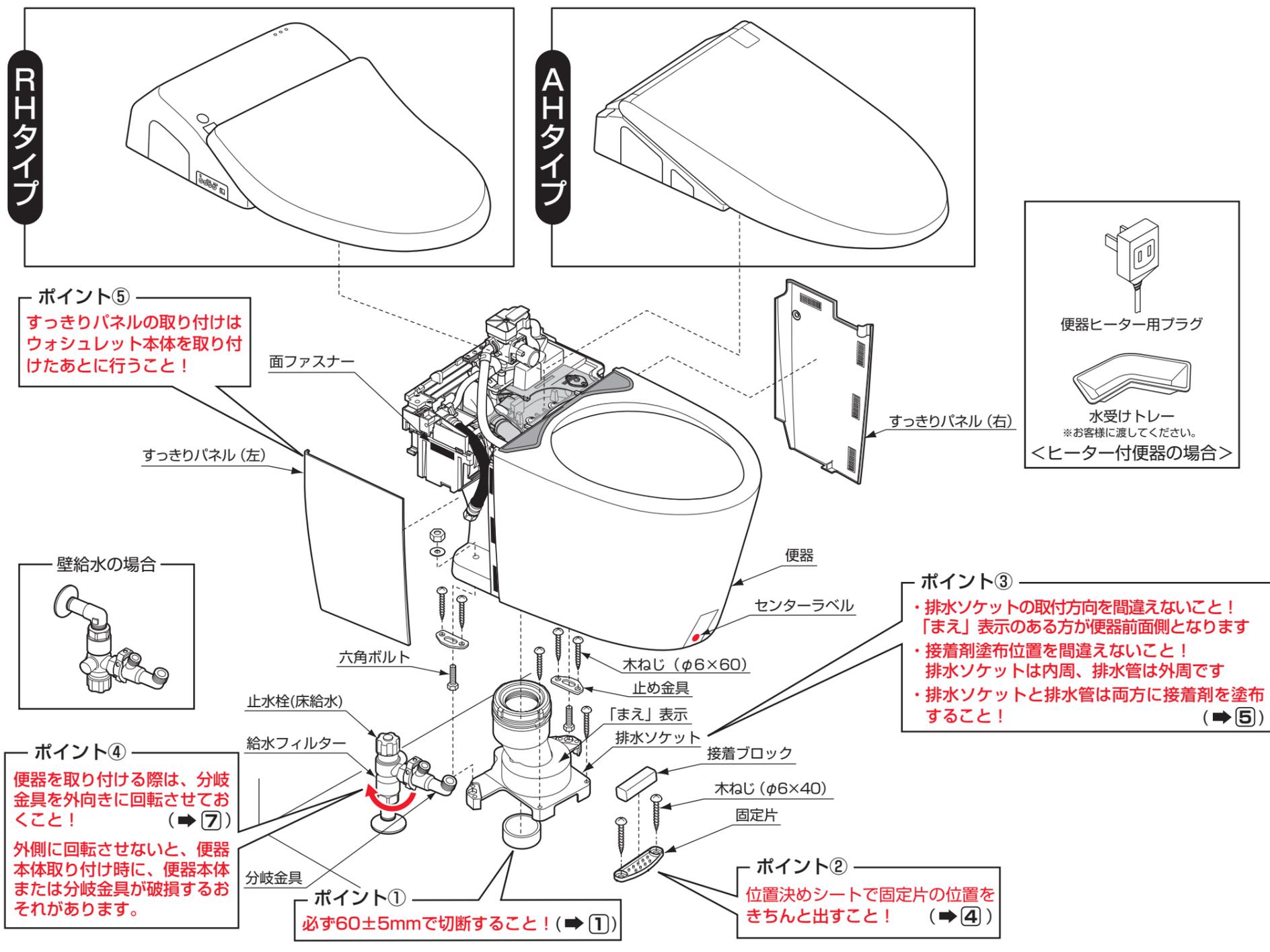
※寒冷地(水抜き方式)の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。
※1 お掃除リフト時の寸法となります。

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。(は本紙、 はウォシュレットの施工説明書を参照ください)



各部のなまえと施工のポイント

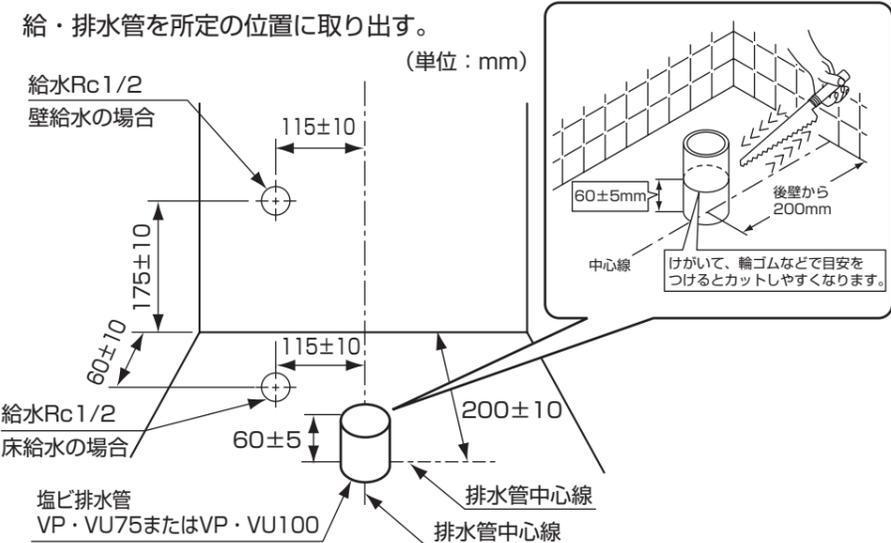


取付方法

1 給・排水管の取り出し

給・排水管を所定の位置に取り出す。

(単位: mm)



2 止水栓の取り付け

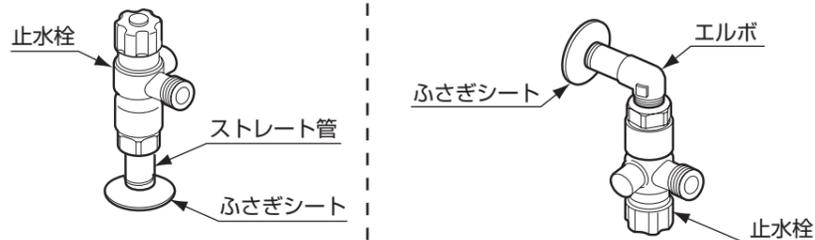
止水栓を所定の位置に取り付ける。

<床給水の場合>

ストレート管を使用すること。

<壁給水の場合>

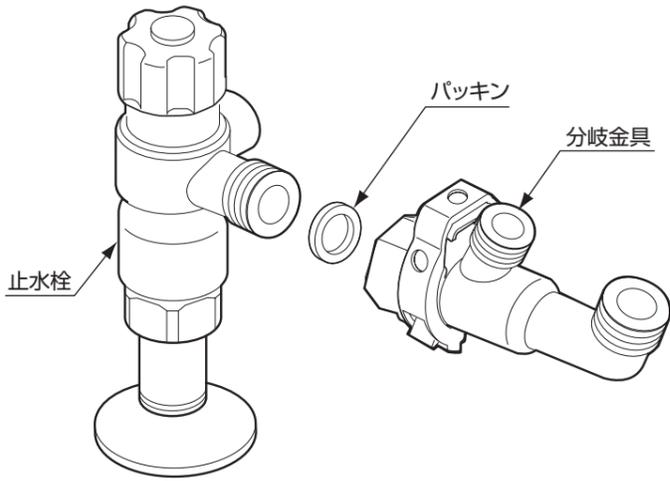
エルボを使用すること。



※寒冷地(水抜き方式)の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。
※ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

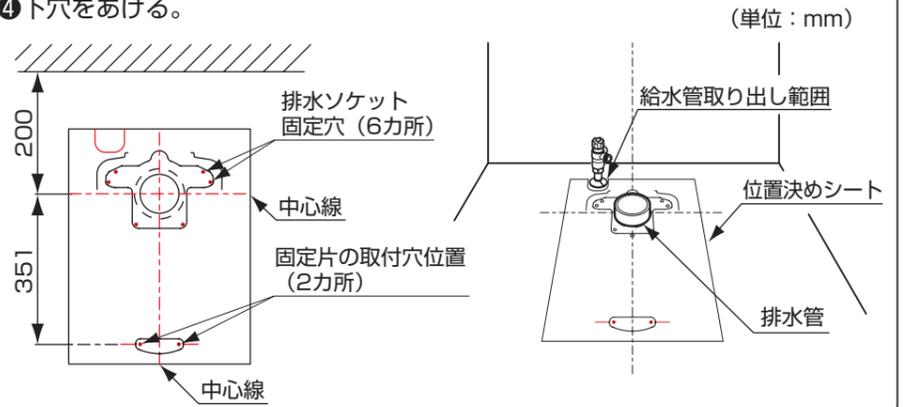
3 分岐金具の取り付け

止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。



4 位置決めシートで固定穴位置をけがく

- ①位置決めシートを排水管の中心線に合わせ床面に置く。
- ②給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- ③排水ソケットおよび固定片の取付穴位置をけがく。
- ④下穴をあける。



5 排水ソケットの接着

⚠注意



必ず実行

接着剤塗布位置を確認する

排水管の種類によって異なりますのでご注意ください。また接着剤塗布面は、排水ソケット内周、排水管外周となります。間違えますと水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する

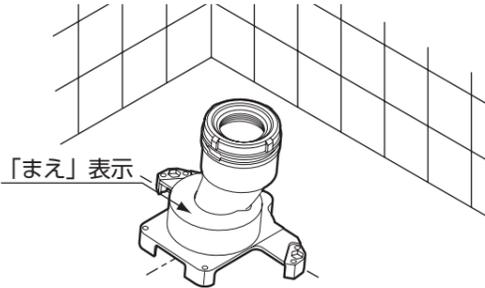
片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

排水ソケットは下面が床面につくまで押し込む

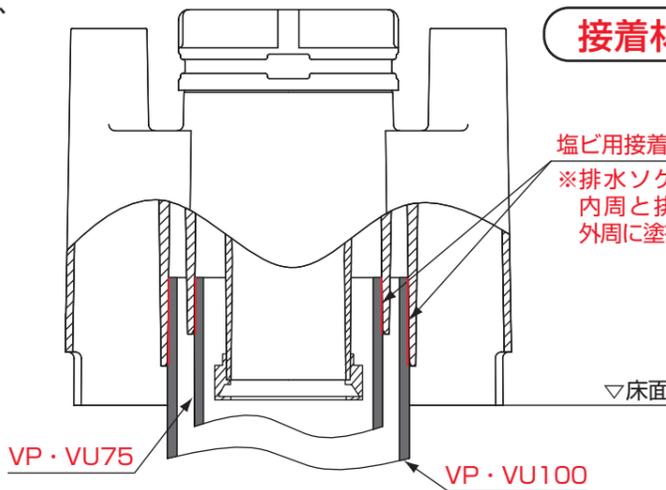
押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

- ①排水ソケットの前後を確認する。
「まえ」表示のある方が前になります。
- ②排水ソケットと排水管の接着部に塩ビ用接着剤を塗り、排水ソケット下面が床面につくまで、排水ソケットを押し込む。
※そのとき、けがいた穴の位置、中心線に合わせて置いてください。

※排水ソケットは、「まえ」表示のある方を便器前面側に取り付ける。間違った方向に取り付けると便器の施工ができなくなります。



<ソケットの代表例>

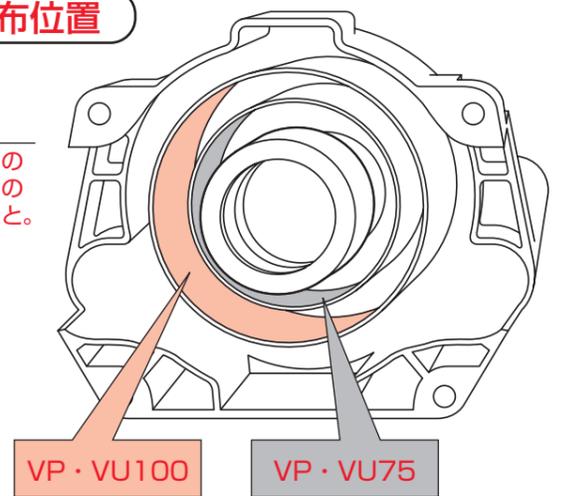


※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。
※一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。

<ソケットの代表例>

接着材塗布位置

塩ビ用接着剤
※排水ソケットの内周と排水管の外周に塗布のこと。



6 固定片・排水ソケットの取り付け

⚠注意



必ず実行

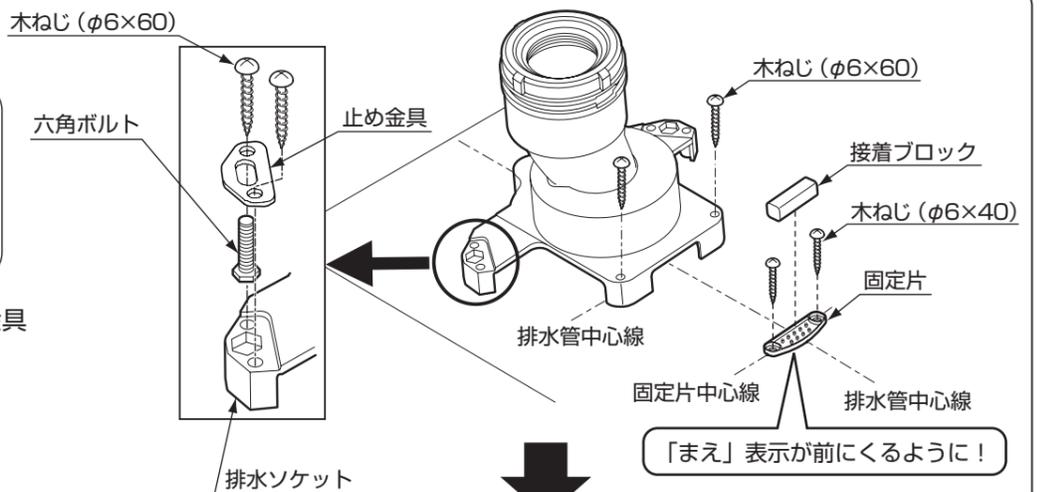
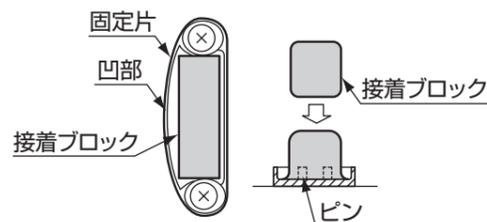
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む。確実にめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

- ①排水ソケット後固定部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通してうで、木ねじで床に固定する。
- ②排水ソケット前側を、木ねじで床に固定する。
- ③固定片を中心線に合わせて、木ねじで床に固定する。
- ④固定片は、図のように接着ブロックを固定片の凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。
- ⑤接着ブロックの上に付属の注意書（クラフト紙）をかぶせる。
※印字のないツルツルの面を下向きにしてください。
※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

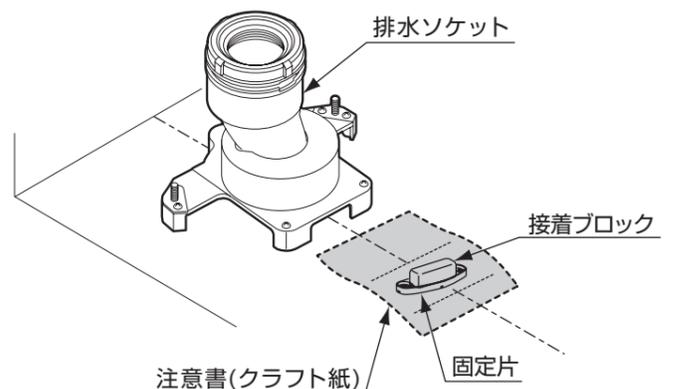
<接着ブロックについて>

- ※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
- ※接着ブロックの方向性は特にありません。
- ※気温が下がると接着ブロックが固くなる場合がありますので、このときは、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照ください。



「まえ」表示が前になるように！



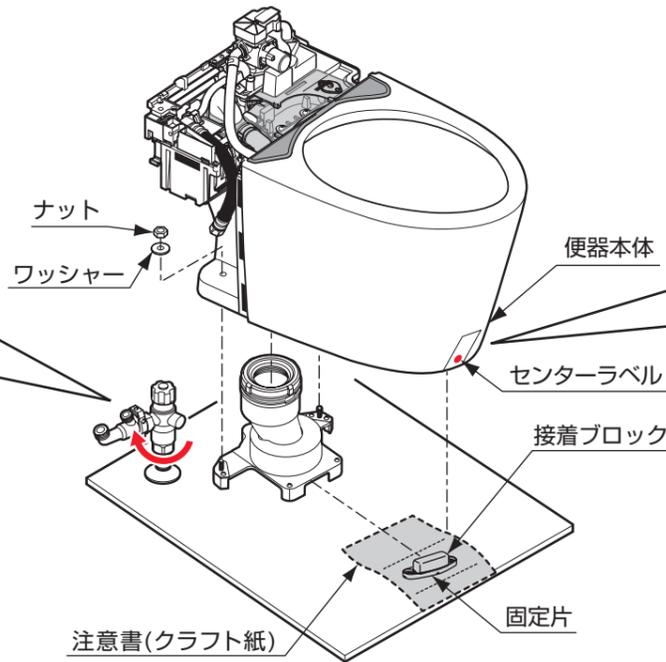
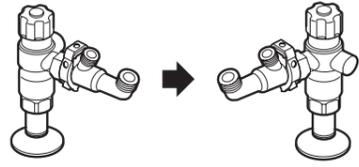
7 便器の取り付け

手順1

分岐金具を外向きに回転させておく。
(便器に干渉しないように)

注意

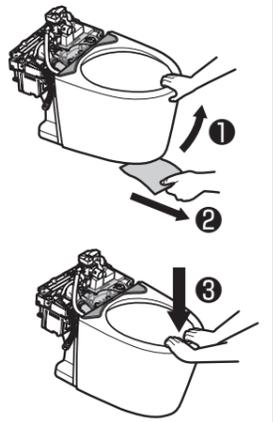
便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておいてください。外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。



※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

手順3

- ① センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。
- ② 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。
- ③ 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。

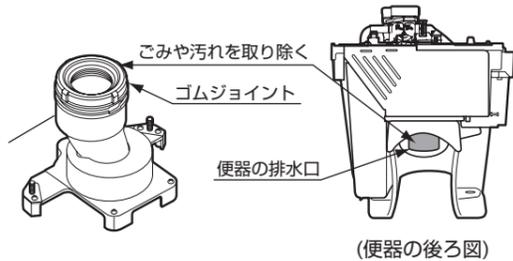


注意

- センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。
- 便器が床につくまでしっかり便器を押さえてください。

手順2

- ① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。
- ② 便器排水口を排水ソケットに差し込む。
※便器の持ちかたは右下図を参考にしてください。



(便器の後ろ図)



ワンポイント

排水ソケットに便器本体を取り付ける場合は、目安として壁から10~15mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように注意してください。

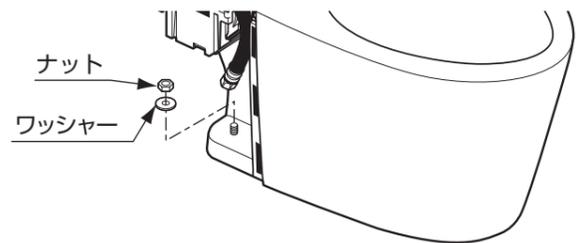


手順4

便器側の取付穴(2カ所)をワッシャー、ナットで固定する。

注意

- ナットを確実に締めてください。ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



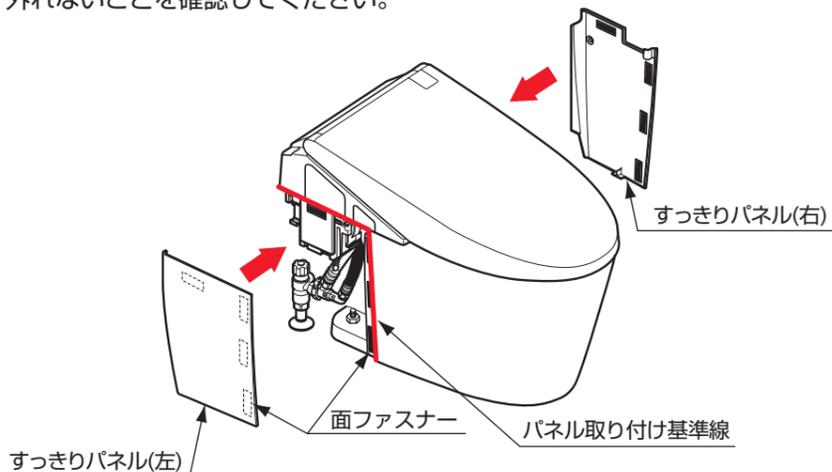
ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

すっきりパネルの取り付け

ウォシュレット本体の試運転確認後、すっきりパネルをパネル取り付け基準線(赤線)に合わせて取り付けます。

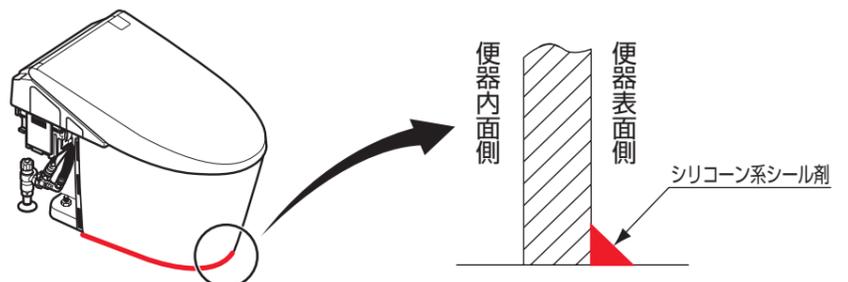
※このとき、面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえてすっきりパネルが外れないことを確認してください。



お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。

フローリング(木質系)を使用される場合は、便器下部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーリング剤を塗布することをおすすめいたします。



取り付け後の確認

- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷がないことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、研磨剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。